

令和元年度 第3回 政策決定会議 会議録②

- ◆開催日時: 令和元年6月14日(金) 15:20～16:00
- ◆開催場所: 市長公室
- ◆出席委員: 永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長

◆審議事項

- ・令和2年度国家予算に対する要望について……………企画課⇒承認
- ・令和2年度大阪府予算に対する要望について……………企画課⇒承認

◆審議概要

『令和2年度国家予算に対する要望について』

『令和2年度大阪府予算に対する要望について』

〈説 明 者〉残総合政策部長、上東企画課長、井上担当長、北村担当員、前田担当員

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案のとおり承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 大阪府予算に対する要望について、以前から要望しているものの、進捗がみられないものに関しては、直近の状況等を整理し、論点を明確にした上で、要望活動の場で具体的な説明や議論ができるようにしておくことが必要であることを確認。

◎説明後、質疑応答

〈市 長〉国に対する要望について、自民党や大阪維新の会、公明党はすべて府議会議員団を通じてという形か。

〈企 画 課 長〉国に対する要望は、自民党府議団のみで、大阪維新の会と公明党については、府に対する要望のみという形である。

〈市 長〉これまで国への要望は通っているのか。

〈企 画 課 長〉同様の内容が府に対する要望にも入っており、そちらはそれぞれ進捗があり、前向きな回答をいただいている。国も要望を受け予算化等の措置をとっていると考える。

〈土佐副市長〉貯木場の利活用について、利用したいという企業がいることから、大阪府と調整したいと考えている。

〈市 長〉木材コンビナートとしての用途のニーズが、今後高まることは考えられるのか。

〈小山副市長〉現時点ではない。原木を持ってきた方が安い時代が終わり、ほとんどが製材の形で輸入されている。

〈市 長〉岸の浦大橋の4車線化に関して、コスト等はわかっているのか。

〈企 画 課 長〉既に橋脚はできている状態のため、一から建造するよりもコストは抑えられると考えられる。

4車線にすることの具体的な工事費は不明であるため、今後確認が必要である。

〈土佐副市長〉道路を拡幅することも重要だが、水の問題が深刻であるため、詰めた議論ができていない状況。実際に水の供給量が原因で進出を断念した企業もあり、企業誘致を推進したい府にとっても不利益となっていることを、府に説明していきたい。

〈市長〉既存の企業に対しても、水を大量に使用するような設備投資、事業展開を制限していることになる。水道のみを先んじて設置することと、道路と合わせて設置することのコストがほとんど変わらないのであれば、道路整備と並行して進めればよい。具体的なコストや企業誘致による経済効果等も踏まえて提案されたい。

今後の予定はどうか。

〈企画課長〉実際に大阪府に出向き要望活動を行うのは8月を予定している。

〈小山副市長〉本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和元年6月3日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和2年度 国家予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和2年度国家予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長
	井上担当長
	北村担当員、前田担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和元年度 第3回会議
付議事項	令和2年度 国家予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の国家予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の国家予算に対する要望を的確に大阪府議会議員団に伝え、国において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
国の厳しい財政状況により、国から本市への補助金の減少が懸念される。

＜課題＞
国からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となるため、継続して国に要望する必要がある。
なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
大阪府議会議員団を通じて、国に対し要望する。									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	目標値				
						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。

令和元年6月3日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	令和2年度大阪府予算に対する要望について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和2年度大阪府予算の編成に向けての要望事項について、決定していただきたい。
説明者	上東企画課長 井上担当長 北村担当員、前田担当員
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和元年度 第3回会議
付議事項	令和2年度大阪府の予算に対する要望

★取組の目的

対象	本市の大阪府の予算に対する要望
どのような状態を目指す	本市の大阪府の予算に対する要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、大阪府において要望内容が可能な限り実現されることを目指す。

★総合計画上の位置付け

202010202	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	イ 時代を先取りした施策を積極的に推進する

★現状と課題

＜現状＞
大阪府の厳しい財政状況により、大阪府から本市への補助金の減少が懸念される他、本市に係る大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。

＜課題＞
大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
各大阪府議会議員団を通じて、大阪府に対し要望する。									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源								
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		0			0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	目標値				
						R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。